



アルコニックス株式会社

東証 プライム市場 **3036**

**2024年3月期 第2四半期
決算説明資料**

2023年11月14日

1. 2024年3月期 2Q 決算概要
 2. 2024年3月期 通期業績見通し
- ## 事業概要・Appendix

【DISCLAIMER】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。

2024年3月期第2四半期エグゼクティブ・サマリー

経営環境

- ▶ 日系完成車メーカーの国内生産は一部回復しているものの、全体としては期初想定に届かず
- ▶ スマートフォン等のIT端末機器/家電はコロナ禍の買替需要が一巡し、昨年末の行動制限解除にともない秋口から需要回復を想定したが、インフレ等により実際は低迷が続く。特に中国経済停滞の影響が大きい
- ▶ 原材料/エネルギー価格の高止まりに加え価格転嫁活動の遅れが影響
- ▶ 「9月以降需要回復」との期初見立てを「来期以降のゆるやかな回復」に修正

第2四半期決算

売上高 : **83,757百万円** (前年同期比△9.2%)
営業利益 : **3,005百万円** (同△47.1%)
経常利益 : **3,033百万円** (同△50.3%)

通期見通し (修正後)

*11/7修正開示

売上高 : **177,000百万円** (修正前 186,000百万円 △4.8%)
営業利益 : **6,200百万円** (同 8,400百万円 △26.2%)
経常利益 : **6,200百万円** (同 8,200百万円 △24.4%)

配当政策 株主還元策

通期業績見通しは下方修正したものの配当は期初予想通り据え置き
中間配当27円 + 期末配当27円 = **年間54円**

- 1. 2024年3月期 2Q 決算概要**
- 2. 2024年3月期 通期業績見通し
事業概要・Appendix**

2024年3月期第2四半期 概況

- ▶ 売上高 : **83,757百万円** (前年同期比△9.2%)
- ▶ 営業利益 : **3,005百万円** (同△47.1%)
- ▶ 経常利益 : **3,033百万円** (同△50.3%)
- ▶ 営業利益率 : **3.6%** (同△2.5pt) / 経常利益率 : 3.6% (同△3.0pt)

商社流通セグメント

セグメント売上高: **48,135百万円** (同△16.8%)
セグメント利益 : **1,327百万円** (同△64.3%)

■ 電子機能材事業 <減収減益>

- ・ IT端末機器の世界的な需要の低迷により二次電池材料等の収益面は弱含み
- ・ ニッケル市況は1Q以降も下落傾向

■ アルミ銅事業 <減収減益>

- ・ アルミ/銅市況は下落傾向
- ・ IT端末機器や家電向け需要は依然低迷、主に伸銅品の取扱数量が減少
- ・ 自動車関連のアルミ圧延品の取扱数量は増加したが想定に届かず

製造セグメント

セグメント売上高: **35,621百万円** (同+3.7%)
セグメント利益 : **1,702百万円** (同△29.7%)

■ 装置材料事業 <減収減益>

- ・ 自動車向け装置/材料は出荷増だが想定に届かず
- ・ 原材料/エネルギー価格の高止まりに対する価格転嫁活動の遅れが影響

■ 金属加工事業 <増収増益>

- ・ 半導体製造装置向け部品は堅調
- ・ 半導体実装装置向け部品は最終製品であるIT端末機器の需要の低迷により不調
- ・ 前期に新規連結した子会社が増益に貢献

業績概要（2024年3月期 第2四半期）

(百万円)	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	増減率 (%)	2024年3月期計画値（通期）		
				期初見通し	修正後見通し (対修正後見通し)	進捗率
売上高	92,214	83,757	△ 9.2%	186,000	177,000	47.3%
売上総利益	13,512	11,408	△ 15.6%	26,000	23,700	48.1%
販売費及び一般管理費	7,829	8,402	+7.3%	17,600	17,500	-
営業利益	5,682	3,005	△ 47.1%	8,400	6,200	48.5%
経常利益	6,105	3,033	△ 50.3%	8,200	6,200	48.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,141	1,916	△ 53.7%	(※1) 5,500	(※1) 4,216	45.4%
1株当たり 四半期純利益（円）	137.66	63.62	—	(※2) 182.69	(※2) 139.89	-
EBITDA（参考）	7,827	5,324	△ 32.0%	12,800	11,030	48.3%

※1 当期純利益を指す

※2 1株当たり当期純利益を指す

セグメント別業績（2024年3月期 第2四半期）

(百万円)		2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	構成比	増減額	増減率	
商 社 流 通	電子 機能材	売上高	23,608	17.6%	△ 8,867	△ 37.6%	
		セグメント利益	2,569	1,175	38.8%	△ 1,393	△ 54.2%
	アルミ銅	売上高	34,249	33,394	39.9%	△ 855	△ 2.5%
		セグメント利益	1,147	151	5.0%	△ 995	△ 86.8%
	計	売上高	57,858	48,135	57.5%	△ 9,722	△ 16.8%
		セグメント利益	3,716	1,327	43.8%	△ 2,389	△ 64.3%
		利益率	6.4%	2.8%	—	△ 3.7%	—
製 造	装置 材料	売上高	20,545	20,021	23.9%	△ 523	△ 2.5%
		セグメント利益	1,021	260	8.6%	△ 761	△ 74.5%
	金属 加工	売上高	13,810	15,600	18.6%	+1,789	+13.0%
		セグメント利益	1,401	1,442	47.6%	+40	+2.9%
	計	売上高	34,356	35,621	42.5%	+1,265	+3.7%
		セグメント利益	2,423	1,702	56.1%	△ 720	△ 29.7%
		利益率	7.1%	4.8%	—	△ 2.3%	—
(セグメント間利益消去等)		△ 35	2				
合計	売上高	92,214	83,757	—	△ 8,456	△ 9.2%	
	経常利益	6,105	3,033	—	△ 3,071	△ 50.3%	
	利益率	6.6%	3.6%	—	△ 3.0%	—	

※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

各セグメントの状況

		売上高	セグメント利益
商社流通	電子機能材	ニッケル市況は1Q以降も下落傾向 【二次電池材料】 ・IT端末機器の世界的な需要の低迷により収益面は弱含み	・主に売上高の減少と市況下落
	アルミ銅	アルミ/銅市況は下落傾向 【アルミ圧延品】 ・一部自動車回復により取扱数量は増加したが想定に届かず 【伸銅品】 ・IT端末機器や家電向けの取扱数量が減少	・主に売上高の減少と市況下落
製造	装置材料	【めっき材料】 ・米国/中国における自動車や電子部品向けが減少 【自動車関連材料/装置】 ・一部自動車の回復により取扱数量は増加したが想定に届かず	・売上高の減少 ・原材料/エネルギー価格の高止まりに対する価格転嫁活動の遅れが影響
	金属加工	【半導体製造装置向け部品】 ・堅調 【半導体実装装置向け部品】 ・最終製品であるIT端末機器の需要低迷により不調 【自動車関連部品】 ・一部自動車の回復により精密金属プレス部品の出荷量が増加	・IT端末機器関連ビジネスが低調 ・前期に新規連結した子会社が増益に貢献

連結貸借対照表（2024年3月期 第2四半期末）

- ▶ 資産：主に現金及び預金と売上債権等の増加
- ▶ 負債：借入金（短期/長期）の返済等、仕入債務は増加
有利子負債 690億円（前期末比 △27億円）
- ▶ 純資産：四半期純利益の計上と包括利益の増加

資産の部 (百万円)	2024年3月期 2Q	2023年3月 期末	増減額	負債・純資産の部 (百万円)	2024年3月期 2Q	2023年3月 期末	増減額
流動資産	148,561	144,212	+4,348	負債	130,453	128,843	+1,610
現金及び預金	30,366	26,993	+3,372	流動負債	101,284	100,348	+935
売上債権	63,701	62,483	+1,217	仕入債務	45,109	40,910	+4,198
棚卸資産	49,265	49,403	△ 138	短期借入金等	47,911	50,920	△ 3,009
固定資産	49,512	47,677	+1,834	固定負債	29,169	28,494	+674
有形固定資産	32,515	31,993	+522	長期借入金等	21,158	20,904	+254
無形固定資産	3,443	3,753	△ 309	純資産	67,620	63,047	+4,573
投資その他資産	13,553	11,931	+1,621	株主資本	55,439	54,325	+1,114
総資産	198,074	191,890	+6,183	その他包括利益合計	11,551	8,150	+3,400
自己資本比率 (前期末)	33.8% (32.6%)	ネットD/Eレシオ (前期末)	0.6 0.7	負債及び純資産 合計	198,074	191,890	+6,183

※増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

連結キャッシュ・フロー（2024年3月期 第2四半期）

- ▶ 営業CF：税金等調整前四半期純利益、のれんを含む減価償却費、売上債権の減少と仕入債務の増加
- ▶ 投資CF：設備投資等に伴う有形/無形固定資産の取得
投資有価証券（政策保有株）売却に着手。5か年で30%程度の縮減（連結ベース）を目指す
- ▶ 財務CF：長短借入の返済、配当金の支払い

(百万円)		2024年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	増減額
現金及び現金同等物の期首残高		25,814	25,944	△ 129
営業C/F		8,410	375	+8,034
	運転資本の変動等	4,378	△ 5,297	+9,675
投資C/F		△ 1,621	△ 2,681	+1,060
	有形・無形固定資産取得等	△ 1,868	△ 1,601	△ 266
フリーC/F		6,789	△ 2,306	+9,095
財務C/F		△ 4,520	△ 3,925	△ 595
換算差額		576	1,207	△ 631
現金及び現金同等物の増減額		2,845	△ 5,023	+7,868
現金及び現金同等物の期末残高		28,660	20,921	+7,738

グループ会社別取扱品目一覧

好調：○ 堅調：△ 不調：×

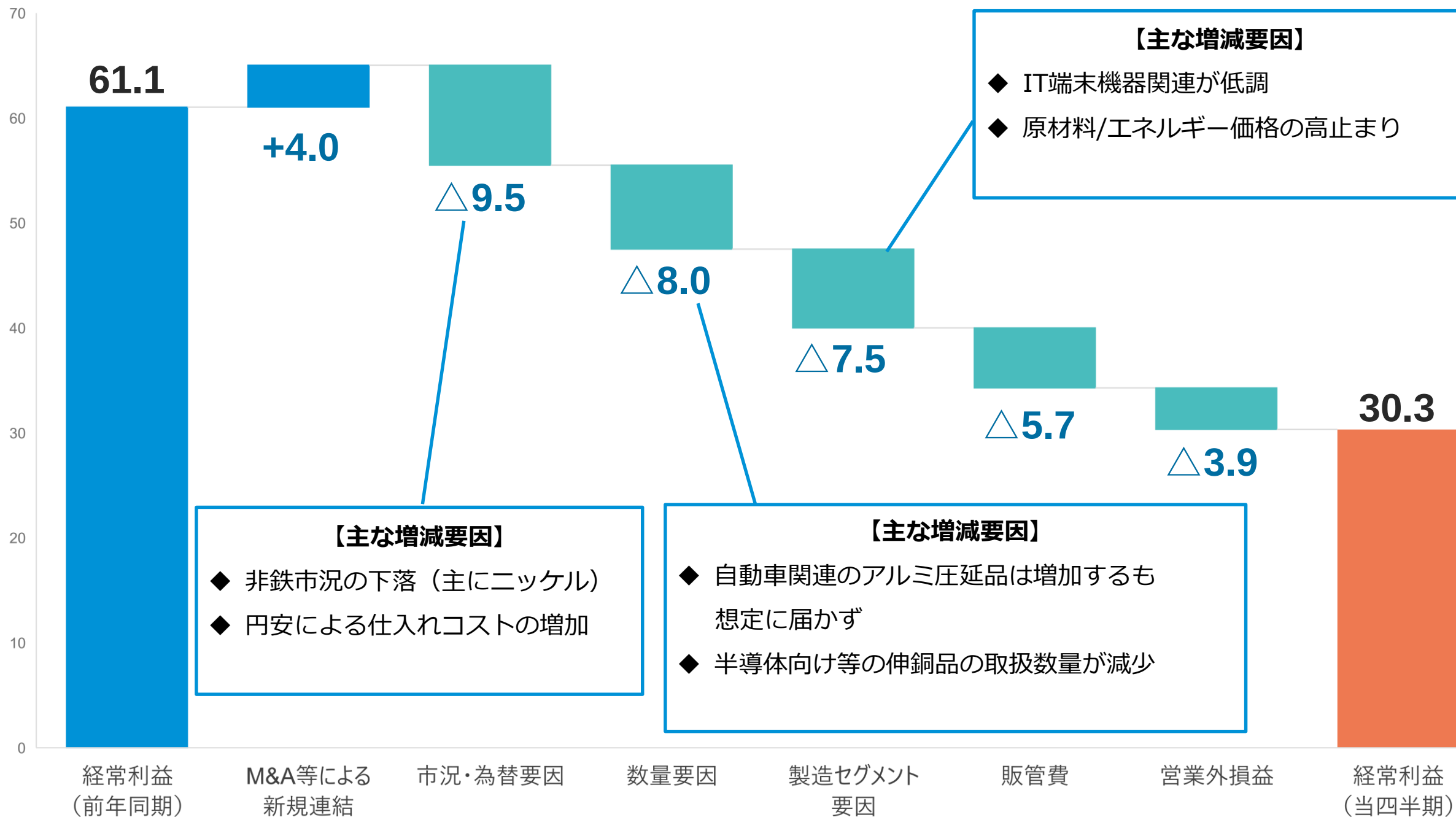
	取扱い グループ会社	自動車 (部品・材料)	半導体	電子材料 電子部品	その他
電子機能材	・アドバンストマテリアルジャパン ・ANDEX	・EV/FCV部品材料 ○ ・車載電池用材料 ○	・半導体各種材料 △	・携帯機器端末部品材料 × ・IT機器部品材料 × ・各種電池材料 ×	・特殊鋼素材（レアメタル）△ ※ニッケル、モリブデン等
アルミ銅	・林金属 ・アルコニックス・三高 ・アルミ銅センター ・平和金属	・電装部品 × ・自動車構成部材 △	・リードフレーム用銅条 ×	・コネクタ部品 × ・プリント基板部品 ×	・建築資材 × ・電気設備部品（ブスバー）△ ・アルミ缶材 △ ・熱交換器用素材（チタン他）○ ・医療向けチタン展伸材 ○ ・空調機器向け材料 × （アルミ圧延品・伸銅品）
装置材料	・Univertical ・東海溶業 ・マークテック ・東北化工 ・富士カーボン	・自動車構成部材用めっき材料 ○ ・金型用溶接材料 △ ・ブレーキパッド用カシュー樹脂 △ ・自動車生産ライン向け 非破壊検査装置／化成品 △ ・電装部品用モーター部品 ×	・半導体用めっき材料 △	・電波吸収体 ○	・非破壊検査装置／検査用化成品 △ ・マーキング装置 △ ・電気設備部品（ブスバー）○ ・電動工具／家電等向けモーター部品 ×
金属加工	・大川電機製作所 ・大羽精研 ・富士プレス ・FUJI ALCONIX Mexico ・富士根産業 ・ジュピター工業 ・ソーデナガノ	・パワートレイン向け部品 ○ ・EV車載電池向け部品 ○ ・自動車試作部品 △	・製造装置向け部品 ○ ・実装装置向け部品 ×	・コネクタ端子部品 ×	・航空機用部品 ○ ・空調機器向け部品 ×

経常利益の増減分析（前年同期比）

※1 小数点以下は切捨表記

※2 端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

（億円）



1. 2024年3月期 2Q 決算概要
 2. 2024年3月期 通期業績見通し
- 事業概要・Appendix

2024年3月期 通期業績見通し（連結）

(百万円)	2023年3月期 実績(A)	2024年3月期 期初見通し(B)	2024年3月期 修正後見通し (C)	増減額 (C)-(B)	増減率
売上高	178,333	186,000	177,000	△ 9,000	△ 4.8%
営業利益	8,393	8,400	6,200	△ 2,200	△ 26.2%
経常利益	8,176	8,200	6,200	△ 2,000	△ 24.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,488	5,500	4,216	△ 1,284	△ 23.3%
1株当たり 当期純利益（円）	182.40	182.69	139.89	—	—
EBITDA（参考）	13,245	12,800	11,030	△ 1,770	△ 13.8%
1株当たり 配当金（円）	54	54	54		

【参考】 2024年3月期想定レート

期初	Al	US\$ 2,500/MT	Cu	US\$ 9,000/MT	Ni	US\$ 28,000/MT	為替	130円/US \$
修正後	Al	US\$ 2,300/MT	Cu	US\$ 8,400/MT	Ni	US\$ 21,000/MT	為替	140円/US \$

2024年3月期 通期業績見通し（セグメント別）

(百万円)		2023年3月期 実績(A)	2024年3月期 期初見通し(B)	2024年3月期 修正後見通し (C)	増減額 (C)-(B)	増減率	
商 社 流 通	電子 機能材	売上高	41,418	47,000	32,000	△ 15,000	△ 31.9%
		セグメント利益	3,601	2,100	2,900	+800	+38.1%
	アルミ銅	売上高	65,861	66,000	70,000	+4,000	+6.1%
		セグメント利益	1,171	900	200	△ 700	△ 77.8%
	計	売上高	107,279	113,000	102,000	△ 11,000	△ 9.7%
		セグメント利益	4,772	3,000	3,100	+100	+3.3%
		利益率	4.4%	2.7%	3.0%	—	+0.4%
製 造	装置 材料	売上高	41,783	42,000	43,000	+1,000	+2.4%
		セグメント利益	998	1,600	700	△ 900	△ 56.3%
	金属 加工	売上高	29,269	31,000	32,000	+1,000	+3.2%
		セグメント利益	2,416	3,600	2,400	△ 1,200	△ 33.3%
	計	売上高	71,053	73,000	75,000	+2,000	+2.7%
		セグメント利益	3,414	5,200	3,100	△ 2,100	△ 40.4%
		利益率	4.8%	7.1%	4.1%	—	△ 3.0%
合計	売上高	178,333	186,000	177,000	△ 9,000	△ 4.8%	
	経常利益	8,176	8,200	6,200	△ 2,000	△ 24.4%	
	利益率	4.6%	4.4%	3.5%	—	△ 0.9%	

※増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

2024年3月期通期見通し前提条件（修正反映事項）

- ▶ 自動車の国内生産は回復基調にあるものの、日系完成車メーカー毎に様相は異なる
- ▶ IT機器・家電は低迷が継続。来期以降の回復を期待
- ▶ 中国経済は低迷からすぐには回復せず、購買意欲の戻りも遅い
- ▶ 価格転嫁活動は継続するが、実需の低下に追いつかず

商社流通セグメント

■ 電子機能材事業

- ・ IT端末機器向けの電子/電池材料の回復は来期以降を見込む
- ・ 自動車やデータセンター向け半導体材料/電子材料の出荷は堅調な推移を期待

■ アルミ銅事業

- ・ 自動車向けは円安進行に伴い一部輸入品から国内生産品に切替わり、国内取引が増加する見込み
- ・ 伸銅品の半導体/家電/IT端末機器向けは低調が続く

製造セグメント

■ 装置材料事業

- ・ 自動車向け装置/材料は回復基調
- ・ 原材料/エネルギー価格の高止まりに対する価格転嫁活動を継続するも数量の低下を懸念

■ 金属加工事業

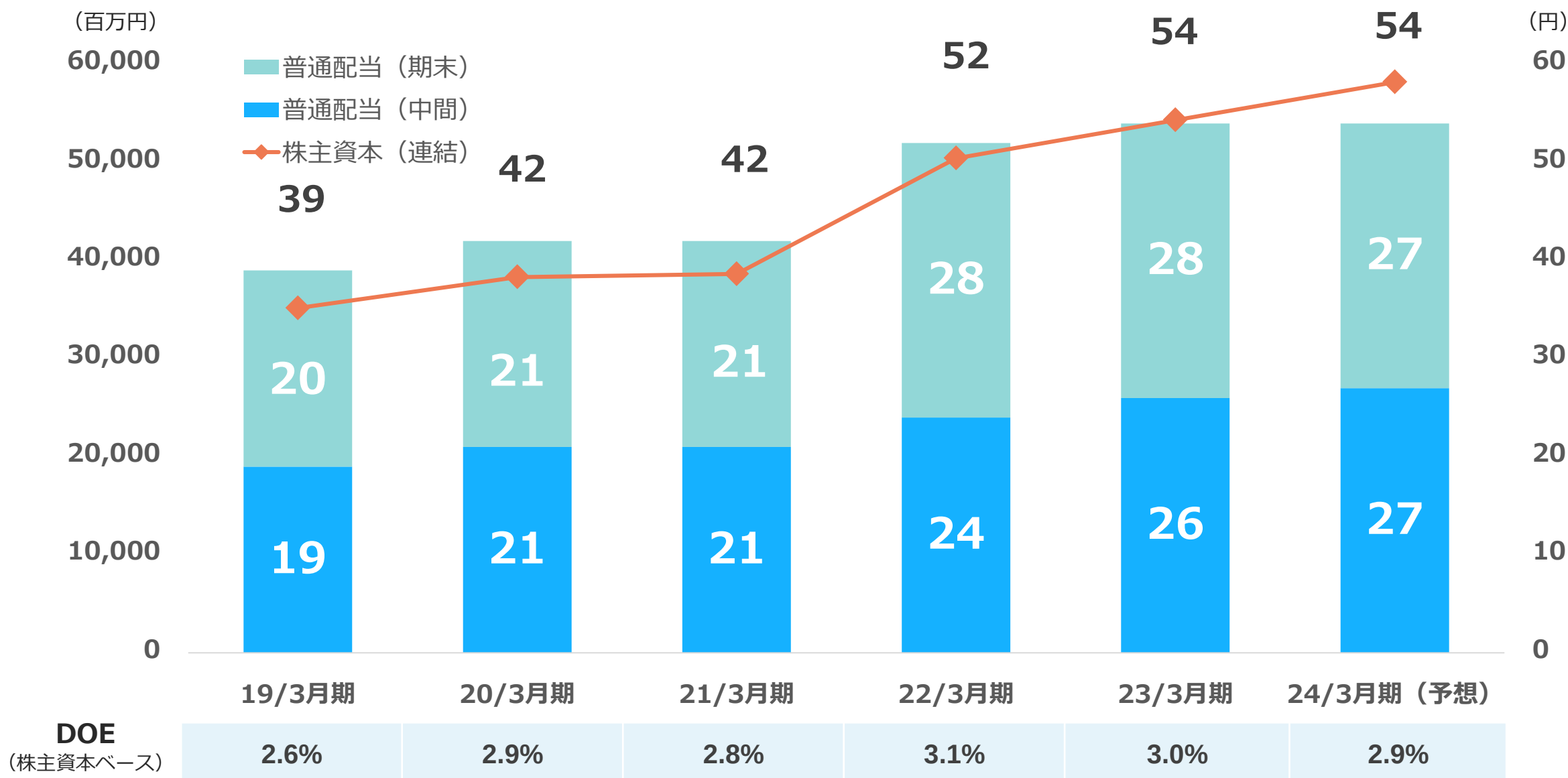
- ・ 自動車関連の出荷は回復見込み
- ・ 半導体製造装置向け部品は堅調を維持
- ・ 半導体実装装置向け部品の回復は来期にずれ込む見込み

金属市況・為替の動向

	2023年3月期 通期	2024年3月期			
		1/2Q			3/4Q
	実績平均値	期初想定 レート(A)	期間 平均値(B)	差異 (A)-(B)	想定 レート
アルミニウム (US\$/MT)	2,511	2,500	2,243	△ 257	2,300
銅 (US\$/MT)	8,548	9,000	8,443	△ 557	8,400
ニッケル (US\$/MT)	25,627	28,000	21,362	△ 6,638	21,000
為替 (US\$/円)	135.47	130.00	141.00	11.00	140.00

株主還元策

通期業績見通しは下方修正したものの 配当は期初予想通り据え置き



実額で安定的な株主還元実現のため DOEを採用

DOE：株主資本配当率（1株当たりの年間配当額÷1株当たりの株主資本 × 100）

「株主資本」の定義：資本金+資本剰余金+利益剰余金

1. 2024年3月期 2Q 決算概要
 2. 2024年3月期 通期業績見通し
- 事業概要・Appendix

アルコニックスのプロファイル

専門商社が持つ知見・情報力を活かして付加価値の高い製造業に進出
原料・製品の流通から加工製品の製造を行う

非鉄金属の総合ソリューションプロバイダー

非鉄金属専門商社として創業

-総合商社からMBO・独立した専門商社として出発

製造業のM&Aを開始

-専門商社M&Aを経て、業容拡大とさらなる成長のため製造業M&Aを開始
-既に知見のある領域でM&Aを行い既存事業の深耕と新規事業の模索を図る



Aluminum
Copper
Nickel + X

現在の「アルコニックス」

「非鉄金属専門商社ビジネス」 + 「金属加工・装置材料の製造業ビジネス」

製造業における付加価値向上とさらなる投資で事業を拡大・成長

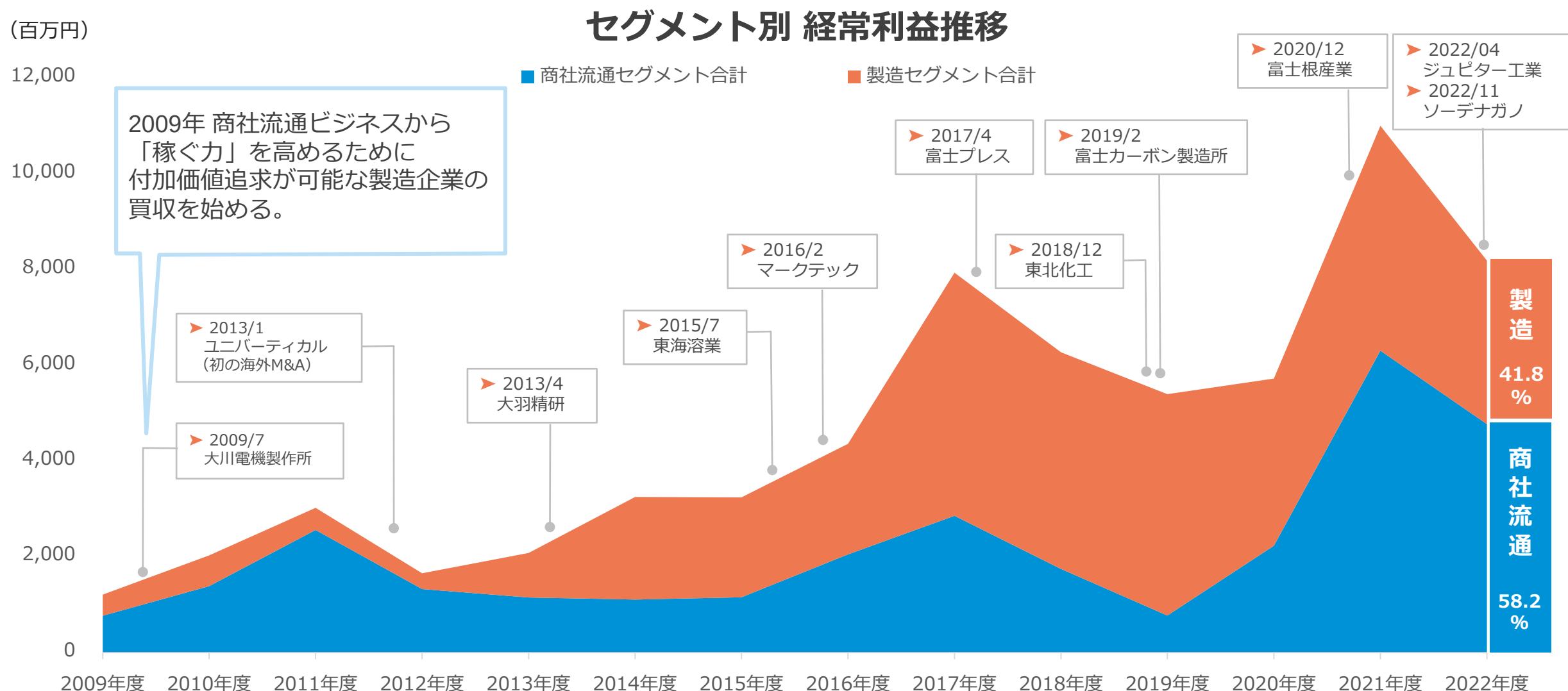
-付加価値の高い金属加工・装置関連のグループ企業群を形成
-有望な市場である「自動車」「半導体」「電子材料」においてさらなる事業を拡大
-「事業承継型」M&Aにより日本の高度な技術を継承。中小企業を支援し社会貢献に寄与
-CVC*によるさらなる投資と育成を通じて新たな収益基盤を確立させる新規事業を創出

日本のモノづくりへの貢献を目指す

*CVC: コーポレートベンチャーキャピタル

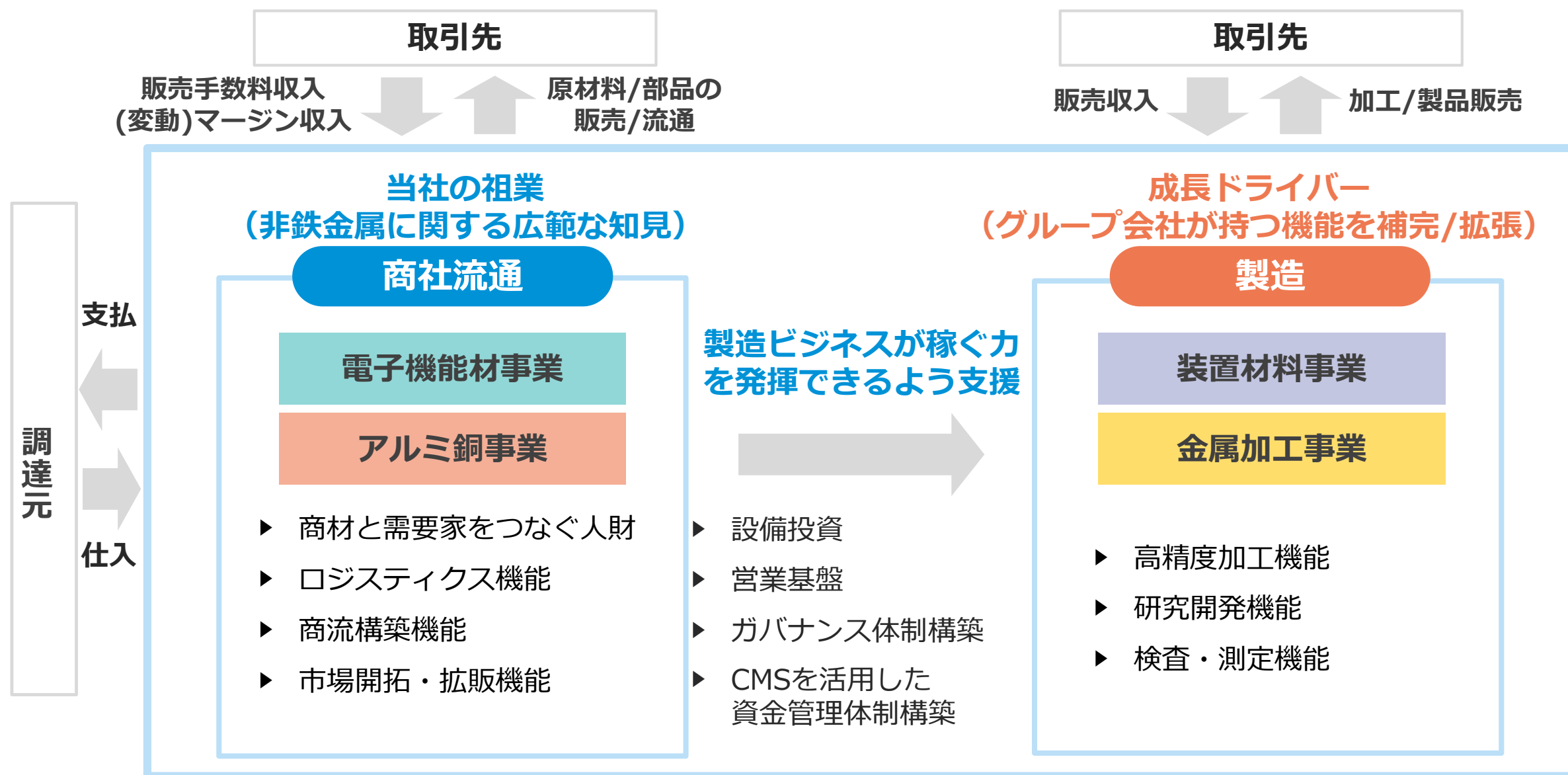
M&Aにより製造セグメントが第2の柱に成長

非鉄金属取引主体の祖業 商社流通ビジネスを軸に「稼ぐ力」を高めるため業容拡大と付加価値追求を目的として製造会社を次々を買収。
第2の事業の柱として築く



アルコニックス成長の仕組み

祖業である商社流通ビジネスで培った深い専門知識・
マーケティング力・顧客対応力を活かし、収益基盤を強固なものにしながら、
製造ビジネスで付加価値を提供し収益増加とバリューチェーンにおける
アルコニックスの存在価値を大きくしていく



非鉄金属業界における当社の位置づけ



アルコニックスグループの事業形態

商社流通

電子機能材事業

スマートフォン、車載用電池向け材料や
レアメタル・レアアースの鉱石・地金・製品を取扱う

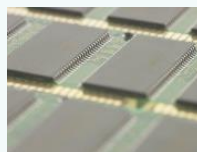
主要な事業領域



IT機器



二次電池
(蓄電池)



半導体・電子部品

製造

装置材料事業

自動車・鉄鋼関連向けに
製造業向け材料および検査装置を製造する

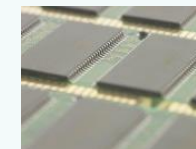
主要な事業領域



自動車



鉄鋼



半導体・電子部品

商社流通

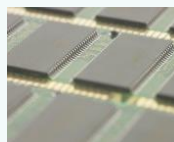
アルミ銅事業

アルミ圧延品/加工品、伸銅品、金属珪素、鉛地金、
アルミ/銅スクラップの取扱いとリサイクル事業を行う

主要な事業領域



自動車



半導体・電子部品



家電製品

製造

金属加工事業

半導体・自動車・空調向けに、
各種精密金属加工部品を加工・製造する

主要な事業領域



半導体製造装置
(実装装置含む)



自動車



業務用エアコン

事業セグメントの説明

		主な事業内容	機会とリスク
商社流通	電子機能材	「電子材料」と「電子部品」が主要な事業分野。 IT端末機器/EV自動車/ハイブリッド車に使用される電子部品/化合物半導体/ 結晶材料、これら材料の生産に不可欠なレアメタル（チタン/タングステン/モリブデン/レアアース等）の取扱いを行う。 レアメタルに特化し鉱石～地金～中間原料までを一貫して取扱う子会社、コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）運営子会社、CVCファンドが所属する。	• EVや各種産業機器の高度電子化 • 他分野における高機能素材の需要の増加 • 需要家の原材料調達ルート複雑化 ----- • 原材料市況の変動 • 地政学的要因による供給制約の懸念
	アルミ銅	「製品」と「原料」が主要な事業分野。 「製品」分野は、アルミ圧延品/伸銅品/バルブ部品等の建設資機材の輸出、三国取引及び国内取引を行う。 「原料」分野は、アルミ/銅スクラップ/アルミ再生地金その他、マグネシウム地金や金属珪素の取扱いを行う。 国内流通や問屋機能を有する流通子会社、スクラップヤードを保有し非鉄スクラップリサイクルを手掛ける子会社が所属する。	• 自動車のCASE化に伴う非鉄需要の拡大 • 鉱石の品位低下と脱炭素に伴う非鉄スクラップ需要の増加 • 商社流通業における業界再編 ----- • 市況要因による運転資金の増加 • リサイクル事業の競争激化
製造	装置材料	M&Aでグループ入りした主に製造業向け材料および検査装置製造子会社で構成される。 自動車向け材料/部品/非破壊検査装置、半導体向け材料、鉄鋼や自動車部品向けマーキング装置の開発/製造を行う。 金属加工事業と比較して、自動車及び鉄鋼関連分野の割合が高い。	• 金属加工事業とのシナジー効果 • ニッチ分野での高シェア企業による利益最大化の追求 ----- • 自動車産業への高い傾注度 • 競合新技術による市場縮小の懸念 • 生産拠点や納入先が中国に集中傾向
	金属加工	M&Aでグループ入りした主に切削・研削・プレス加工により非鉄金属関連部品を製造する子会社で構成される。 IT端末機器/半導体製造装置/自動車/航空・宇宙/空調向けコア部品の加工・製造を行う。	• EV生産台数増によるリチウムイオン電池の需要増 • グループ間における技術協力の深化 • 顧客情報や営業拠点の共有による販路拡大 ----- • 特定の主要顧客、地域の動向に左右されやすい • 地政学的リスクやそれに伴うサプライチェーンの混乱 • EV用電池におけるリチウム代替の動き

CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）



従来のM&Aに加え、2021年8月CVCを設立。
アーリー・ミドルステージを中心に
素材・モノづくり分野の有望ベンチャー企業へ投資

当社CVCの 特徴

商社機能と製造機能の両面からのハンズオン支援
販売・調達、開発・製造・実証など幅広い分野で事業育成を支援

投資先 事業領域

素材（Material）

電子分野：機能材・構造材・半導体材料など

エネルギー分野：電池や燃料電池、モーター、熱交換器など

モノづくり（Manufacturing）

基礎技術：マテリアルインフォマティクスやAIなど

製造技術：省人化や生産効率向上のためのロボティクスや検査装置など

リサイクル（Recycle）

温暖化改善に寄与する金属スクラップの高精度回収技術、
レアメタルの回収技術

投資実績

運用資産 3,000百万円
投資実績 7件（2023年10月末現在）

 Novel Crystal Technology, Inc.

LINKWIZ
Robotics & Partners

中期経営計画2023（2024年3月期～2026年3月期）の基本方針

製造セグメントの強化等を通して基礎収益力を底上げし、
グループ全体の持続的成長を実現

主要重点施策

① 財務体質強化

- 既存事業の収益力強化
連結グループ会社への設備投資や受注開拓支援
「稼ぐ力」を意識したEBITDA指標の採用
- 投資効率強化、資金調達の効率化・多様化
資本コストを考慮したROIC目標
DOE 3.0%の目標を維持

② 人的資本強化

- 給与・教育・機会の抜本的強化
採用力向上と育成・定着の促進
人事体系、評価体系の継続的な見直し

③ ガバナンス強化

- 現中期経営計画の中心的課題に加え、
グループコンプライアンス体制の強化

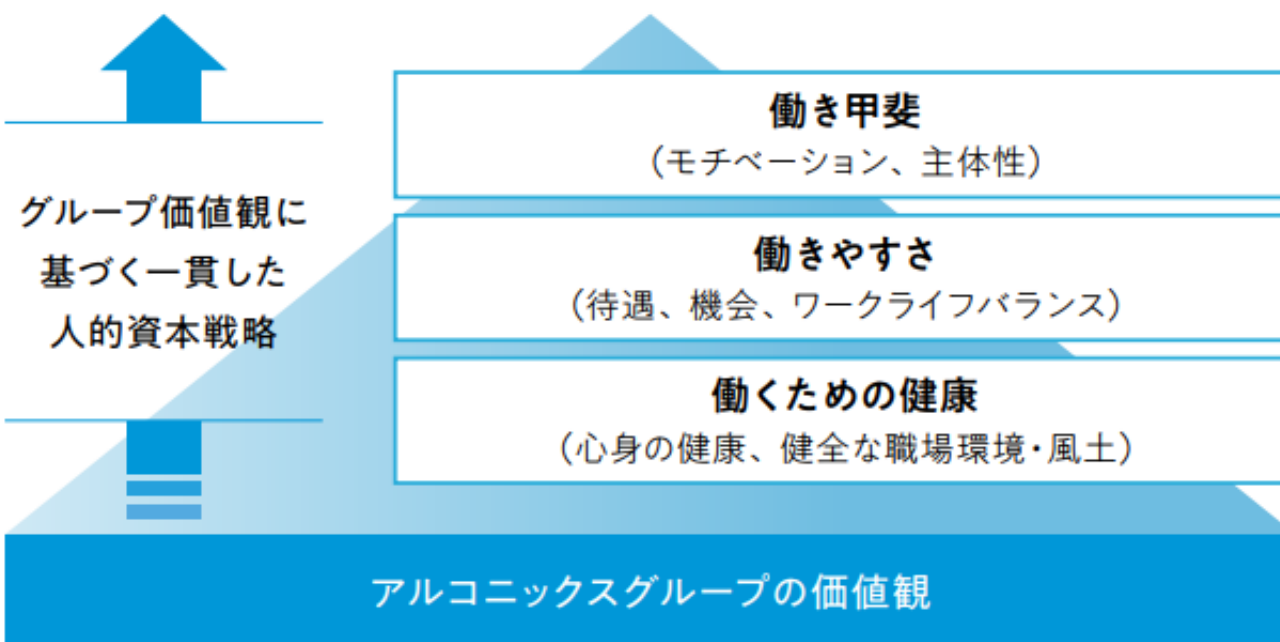
数値目標

(億円)	2023年3月期 実績	2026年3月期 計画
売上高	1,783	2,230
営業利益	83	122
経常利益	81	120
EBITDA	132	160
ROE	10.5%	12.0%
ROIC	4.6%	6.3%
DOE (株主資本ベース)	3.0%	3.2%

人的資本強化について

グループ価値観に基づき人的資本戦略を強化。
「夢を描き、形にする」能力の持ち主、
新たな企業発展や事業拡大の可能性に気づき、先見性と行動力で
アイデアを次々に具現化できる人財を増やしていく

アルコニックスグループが求める「人財」の定義
「夢を描き、形にする」能力の持ち主



アルコニックスグループの価値観とは…

企業理念に沿って「働き甲斐」「働きやすさ」「働くための健康」の3つの観点から人的資本戦略を強化し、人的資本の価値最大化のため「3つの『K』」（給与・教育・機会）の改善・拡充・提供を重点的に取り組むこと。

【取組事例】

- 総合職と一般職の職種統合を含む人事制度改革
- 賃金改定(ベースアップ)の実施
- 教育研修体系の拡充
 - ▶ 自律的なスキルアップと主体的なキャリア形成を支援
- 女性活躍推進 女性管理職比率向上
 - ▶ (予定)女性リーダー育成セミナーの開催
- 育児・介護両立支援制度の拡充
 - ▶ 性別に関係なく仕事と育児・介護の両立を支援する制度を法定を上回る基準で整備
- キャリア希望申告制度
 - ▶ 中長期的なキャリア、能力開発への考えを上司・部下間で共有し、人材育成に活用する制度
- 健康経営の推進
 - ▶ 社員の健康増進施策
 - ▶ 管理職へ向けた女性の健康配慮への取り組み
 - ▶ 健保組合と連携し、検診データの活用
- 相談体制の拡充
 - ▶ 健康相談

サステナビリティに対する考え方

サステナビリティ基本方針

持続可能な「夢みた未来」のために、経営理念に示された行動規範・価値観にもとづいて、多様な人財とたゆまぬ努力で、すべてのステークホルダーの皆さまとともに、環境・社会・ガバナンス（ESG）の課題に取り組みます。

【脱炭素・資源循環といった環境親和型ビジネスを推進する】

- ① 気候変動リスク・機会の分析強化
- ② EV他次世代自動車向け商材の拡販
- ③ レアメタル再資源化技術の開発支援

E
(環境)

【コンプライアンス・リスクマネジメント体制を中心とした内部統制を一層強化する】

- ① グループ内部通報制度の整備
- ② グループコンプライアンス研修
- ③ 監査役業務室・内部統制業務室の設置

G
(ガバナンス)

【ステークホルダーとの関係構築を強化し、人権を尊重する取り組みを具体化する】

- ① グループ会社の地元密着型地域貢献
- ② 投資家・株主とのより一層の対話
- ③ グループ健康宣言の開示

S
(社会)

アルコニックス
の
マテリアリティ
(重要課題)

最重要項目

【多様な人財の創造的な活躍をサポートする登用・育成制度と職場環境を整備する】

- ① 全社向け選択型研修システムの導入
- ② 女性活躍推進行動計画の設定
(2025年：女性社員比率35%以上*)
- ③ 法定基準を上回る
介護・育児支援制度の導入

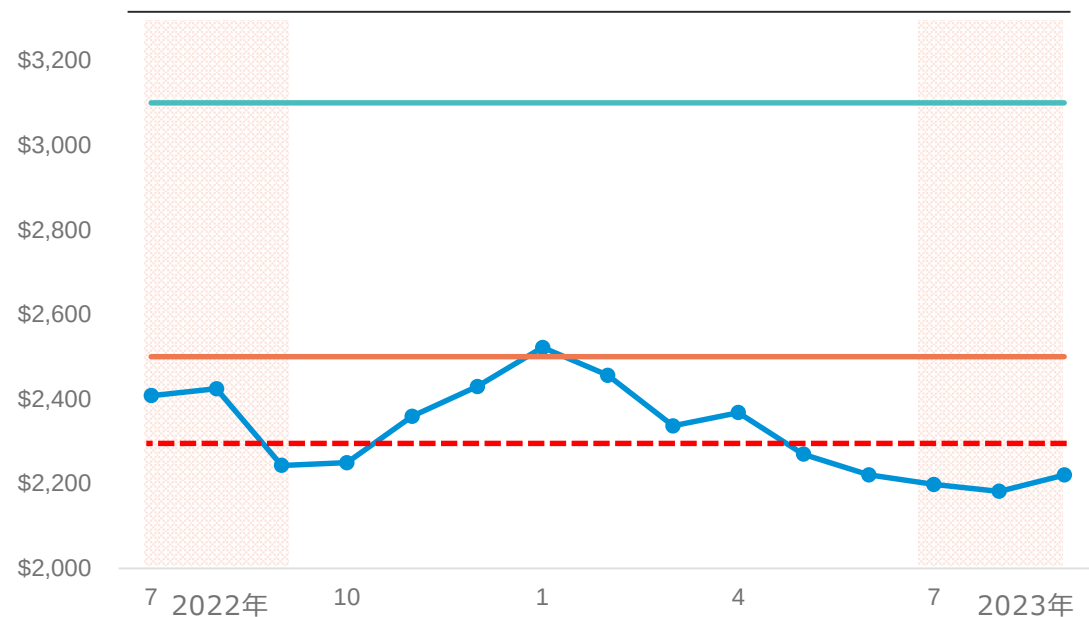
H
(「人財」)

*女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の目標数値は、出向社員を【含む】従業員数を母数としているため統合報告書等で記載の数値とは異なる。

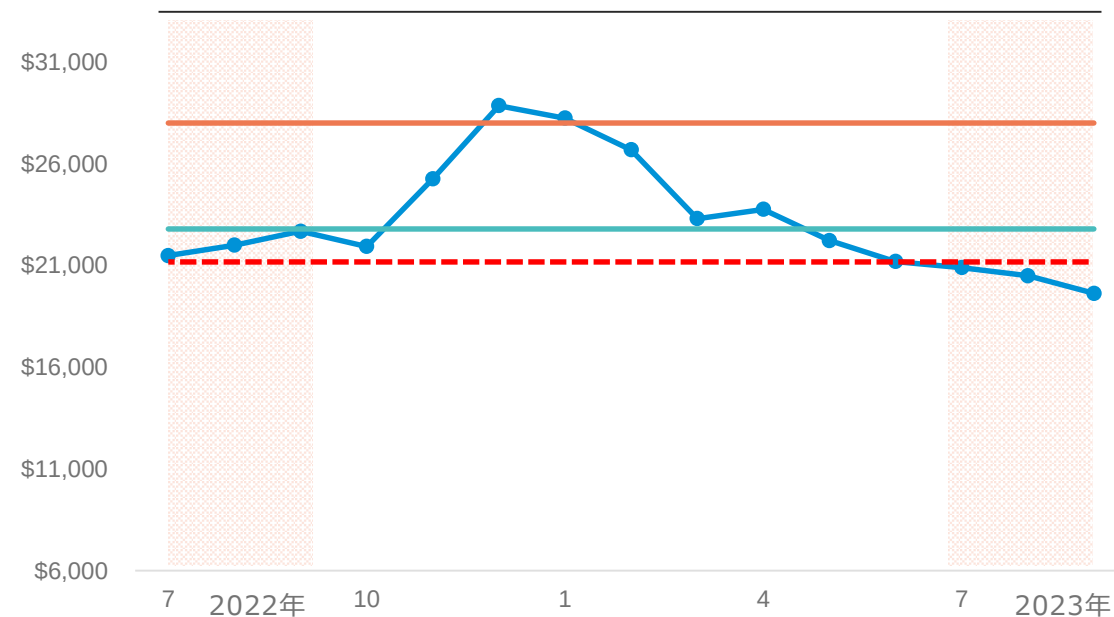
非鉄金属市況・為替の動向

— 2023年3月期予算想定レート
 — 2024年3月期予算想定レート
 - - - 2024年3月期修正後想定レート

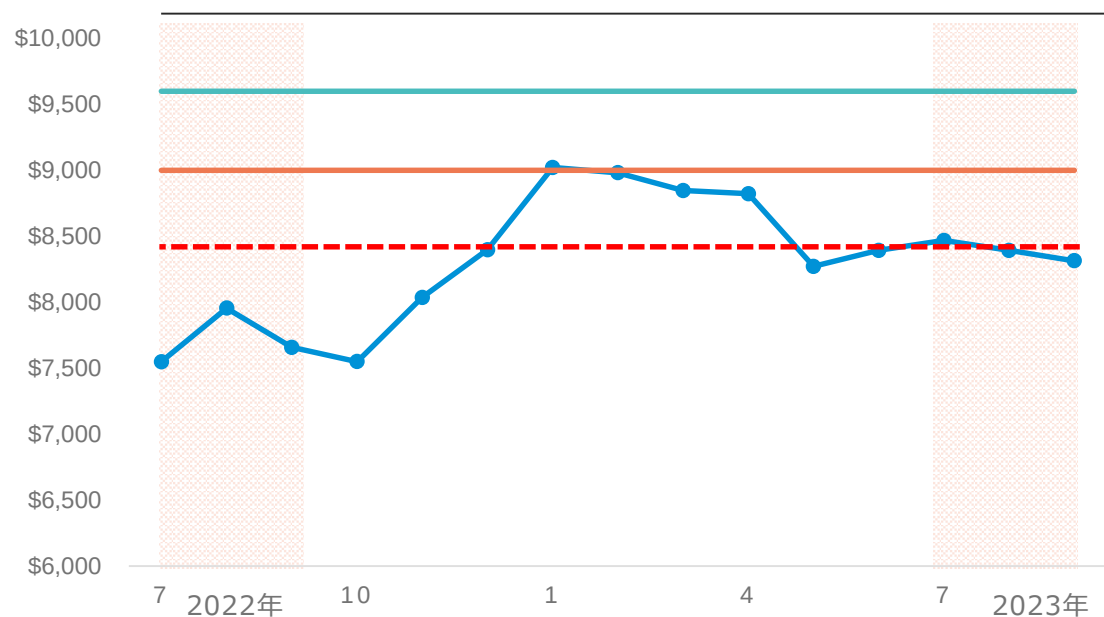
アルミ市況 (US \$ /MT)



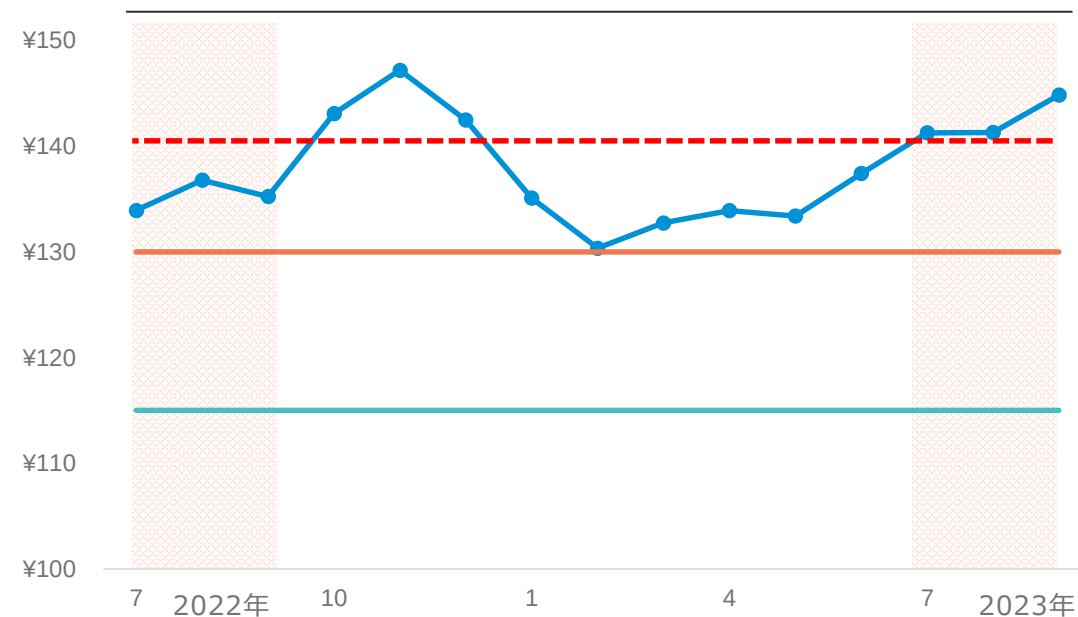
ニッケル市況 (US \$ /MT)



銅市況 (US \$ /MT)



為替 (US \$ /円)



シェアードリサーチ社によるアナリストレポート

中立性を重視し、第三者視点での調査、分析に基づいて作成されたシェアードリサーチ社のアナリストレポートを公開しています。事業構造や競争環境、優位性等の網羅的な内容となっており、投資家の皆様に当社へのご理解を深めていただき、投資判断のご参考としていただけますと幸いです。

[アルコニックス株式会社 | Shared Research](#)

本決算説明会のアーカイブ配信

本決算説明会のアーカイブ動画（日・英）を当社IRページや大和アイ・アール社のサイトにて後日配信予定です。

[IR情報 | アルコニックス株式会社 \(alconix.com\)](#)
[投資家向け説明会動画 | 大和インベスター・リレーションズ \(daiwair.co.jp\)](#)

IRに関するお問合せ

下記メールアドレスまでご連絡ください。

ir@alconix.com